

名古屋市立野田小学校での出前講座実施報告

名古屋自然保護官事務所は、5月12日に名古屋市立野田小学校にて出前講座を実施しました。

野田小学校の4年生3クラスを対象に、総合学習の時間に藤前干潟の生き物と環境について知ることを目的として、出前講座を行いました。

講座の内容は、主に藤前干潟の特徴と生息する多様な生物の紹介、干潟が守られた経緯、漂着ごみの問題と現状です。今回も干潟の泥や生きものを持参して触れてもらい、体感してもらいました。皆さんは生きものに大変関心が高く、手にとってじっくり観察していました。カニに触れるのが怖くて逃げていた子も周囲のお友達が楽しそうに触れあっている姿を見て恐る恐るカニに触れている様子でした。

過去に藤前干潟が埋め立てられそうになった経緯や市民が行政に干潟が守られるように働きかけたことも説明しました。干潟が埋め立てられたらどうなるのか皆さんに問うと「やめてほしい」「生きものが住めなくなる」と口々に答え、干潟の大切さを理解している様子でした。

埋め立てから回避された現在でも、川からごみが藤前干潟にたくさん流れ着き、干潟の生きものに影響を与えることも実例を交えて紹介しました。

今回の出前講座を受講された皆さんは来月に藤前干潟を訪れ、干潟体感学習を行う予定のこと。今回の講座で紹介しきれなかった生きものもたくさん見られると思いますので楽しみにして来て下さいね。



講義の様子



講座の様子



◆実施概要◆

実施日：平成26年5月12日（月）9:30～11:50

場所：名古屋市立野田小学校（中川区）

対象：小学校4年生（3クラス、計94名）

対応：名古屋自然保護官事務所職員2名

◆講座の内容◆

テーマ	藤前干潟の生き物と自然
1.	「ひがた」ってなに？ ・何からできているのか、どこにあるのか? ・干潟の不思議な特徴
2.	干潟に住む多様な生き物たち ・貝類、カニ類、鳥類の紹介
3.	干潟が埋められそうになった
4.	生き物がたいへん！ ・ごみの被害者 ・干潟に流れ着くたくさんのごみ
5	まとめ



2014年5月12日

名古屋自然保護官事務所

アクティブルンジャー 上野淳一